

平成26年度 安野小学校グランドデザイン

【2014 阿賀野市の教育の重点】

自立:基礎基本と問題解決力の育成に努める。
共生:互いの良さに気付き、支え合い、学び合う心の育成に努める。
信頼:学校を開き、地域・保護者と行動連携を図り教育課題の解決に努める。

【新潟県 学校教育の重点】

- 1 学力向上の取組の充実
- 2 豊かな心を育む道徳教育の推進
- 3 「いじめ見逃しゼロスクール」の推進
- 4 体力向上の取組の充実
- 5 特別支援教育の充実
- 6 キャリア教育の推進

【保護者・地域からの願い】

- ◎生きて働く学力の向上
- ◎友達と仲良く生きる知恵の獲得
- ◎「伝え合う・聞き合う・話し合う」ことによる学校・家庭・地域の連携強化

教育目標

進んで学ぶ子 思いやりのある子 たくましく伸びる子

重点目標

進んで学び、表現する子

自分と友達を大切にする子

健康を考えて生活する子

目指す姿と教育活動

- 分からないことを聴き合い、やりぬく子
- 基礎・基本が身についている子

- 明るく受け応える子

- 正しい生活リズムを身につけた子
- 進んで運動に取り組む子

【めざす子どもの姿】

①80%以上の子どもが、自分の考えをもち、相手に伝えることができます。

②65%以上の子どもが、国語・算数のワークテストで、各教科で全国平均を上回る学力を身に付けます。

【教育活動】

①授業研究を通して、考えの持ち方や話し合いの組み立て方について学期に2回以上の研修会・研究授業を行い指導します。

②互いの考えに対する質問や付け足し等、話し合いのルールを作成し授業で指導します。

③家庭学習強調週間を設定したり、具体的な学習方法を指導したりして、家庭学習の習慣が身につくように指導します。

④全校国語テスト・算数テスト・Webテストを計画的に実施します。結果をカードで報告します。

⑤「知育便り」等を随時発行し、学校での学習の様子を伝えて家庭との連携を図ります。

【めざす子どもの姿】

①85%以上の子どもが、友達にやさしく接することができるよう、明るいあいさつや相手・時・場にあわせて言葉遣いをします。



【教育活動】

①あいさつ・ふわふわ言葉など、具体的な場面の違いに応じた言葉遣いについて、月別目標を設定して繰り返し指導をします。

②友達との関係作りを通して自己肯定感を高めるよう、学校の行事や活動と関連づけた道徳や学級活動の授業を、学期に2回以上実施します。

③家庭との連携を図るため、「徳育たより」等で、学校生活の成果や課題を隔月でお伝えます。



【めざす子どもの姿】

①80%以上の子どもが、「安野っ子元気アップ作戦」に取り組み、正しい生活リズムを身に付けます。

②80%以上の子どもが、給食を好き嫌いなく食べることができ、「はてな」をいつも身に付けています。

③80%以上の子どもが体力テストの結果を生かし、上体起こし・長座体前屈を中核に、体力向上を図ります。

【教育活動】

①重点期間を設定し「安野っ子元気アップ作戦」を学期に1回、年3回実施します。

②生活の健康面からの改善を目指して、食育便りは隔月、保健便りは毎月発行し、家庭との行動連携を図ります。

③体育の授業ではカードなどを工夫し、準備運動の質を高め運動量を確保します。



【特別支援教育の推進】楽しく生活する基盤としての「人間関係づくりの能力」の育成に取り組めます。

- ・個別の指導計画の作成と活用
- ・関係機関との連携による支援体制作り
- ・特別支援学級の充実
- ・通級指導教室の活用

【いじめや問題行動、不登校への取組】よりよい自分を作り出す「自己指導能力」の育成に取り組めます。

- ・教育活動と道徳の指導の関連を重視
- ・週2回の日常的な子どもに関する情報交換
- ・年3回の子どもの語る会の実施

【笑顔にあふれる学校づくり】情報発信を通して学びと育ちが実感できる笑顔あふれる学校づくりに努力します。

- ・各種便りの発行とホームページの更新
- ・PTA及び安小の子どもを守る会との連携
- ・学校評議員会や学校保健委員会の開催等

